

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆27年度国債費は過去最大36兆円に 想定金利3.8%、財務省調整

・財務省は2027年度予算の概算要求で国債費の要求額を過去最大の約36.6兆円とする調整に入った。国債の利払い費の算定に使う想定金利は3.8%と、26年度予算の3.0%から引き上げる。国債費とは国債の償還や利子の返済のために充てる費用を指す。償還期限を迎えた国債の元本を返済するための償還費と、利払い費の主に2つに分かれる。

◆中小の事業承継、成長投資・賃上げなら贈与・相続税免除 経産省要望へ

・経済産業省は中小企業を引き継ぐ後継者の税負担を減らす事業承継税制について、相続税と贈与税の免除を検討する。成長投資や賃上げに取り組む企業を対象とする。いまは納税を猶予した後に実質免除している。税負担減の予見性を高める。2027年度の税制改正要望に盛り込む。具体的な制度設計は年末にかけて政府・与党内で調整する。

◆財形貯蓄の非課税限度額、インフレ対応で引き上げ 厚労省検討

・厚生労働省は財形貯蓄制度で利子が非課税になる限度額の引き上げを検討。住宅価格の上昇やインフレに伴う年金資産の実質的な目減りに配慮。「金利ある世界」の復活も踏まえ、家計の金融資産づくりを後押し。財形貯蓄には使い道を問わない一般と60歳以降に年金として受け取る年金、住居の購入やリフォーム費に充てる住宅の3種類がある。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆アンドパッド、東京ガス・ダイキン・カインズと資本業務提携

・アンドパッドは東京ガス、ダイキン工業、カインズの3社と、それぞれ戦略的資本業務提携契約を締結したと発表。エネルギー、空調、住まいの各分野を代表する企業との連携により、AX(AI Transformation)の実装を進め、その成果を業界全体へ広げていく。領域特化型AI(パーティカルAI)によって、生産性向上や産業構造の転換を図る動きが加速。

◆石油系資材価格、シーリング材が急騰 塩ビも6.9%高——経済調査会

・経済調査会は石油系建設資材の価格動向をまとめた「積算資料 石油系資材ウォッチ・臨時速報」を公表。東京地区では「建築用シーリング材」が前月比+27.7%の2490円/Lと急騰したほか、「硬質ポリ塩化ビニル管」も同+6.9%の2170円/本に上昇。原材料高を背景に、建築・設備系資材で販売側の価格転嫁が鮮明化している。

◆7月建築費指数 木造住宅0.5%増 アルミサッシなどプラス要因に

・建設物価調査会が公表した2026年7月分の「建設物価建築費指数」によると、工事原価で見た木造住宅の建築費指数は152.3となり、前月比で0.5%(0.8ポイント)増加。前年同月比では6.4%(9.1ポイント)の増加。前月比でプラス要因となった主な細目は「アルミサッシ」(+0.34)、「衛生配管」(+0.04)、「電線・ケーブル」(+0.01)などだった。

《 注目商品 》

■ディクラッセ、曲げられるロープ型フロアランプ

・心地よくつろぎの空間を演出する夕陽色のやさしいあかりと、自由に形を変えられるフレキシブルな操作性を融合したフロアランプ。自在に曲げられるロープ状の発光体とファブリック素材を組み合わせ、誰が扱っても美しく整うように、数種類の形にパターンを絞って設計。



■アイカ工業、高級意匠性塗材「クランチアート フロア仕様」

・高級意匠性塗材「クライマテリア」に新シリーズ「クランチアート フロア仕様」を追加し発売。人造大理石(テラゾー)調の意匠性と質感、継ぎ目のない仕上がり、合板基材に薄膜塗装で仕上げる軽量性・省施工性が評価、什器・家具と床のコーディネートも可能。



■ツインバード、日本製家庭用精米器「4合精米器(MR-E522W)」

・米どころ新潟燕三条のメーカーとしての知見と技術をもとに開発した、日本製の家庭用4合精米器。お米に負担をかけにくい形状のかくはん棒により、割れ米を減らして、お米の温度上昇を抑えながら精米できる「かくはん式」を採用。

